

届書の書き方

出生届

平成00年00月00日届出

川崎市〇〇区 長 殿

受理 平成 年 月 日	第 号	発送 平成 年 月 日	第 号	
送付 平成 年 月 日	第 号	長印		
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票 附 票 住民票 通知	
子の氏名	(よみかた) かわ さき いち ろう 氏 名 川崎 一郎	父母との 続き柄	<input checked="" type="checkbox"/> 嫡出子 (長男 <input checked="" type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 嫡出でない子 (男 <input type="checkbox"/> 女 <input "="" type="checkbox"/> 午後 <input type="checkbox"/>	0 時 15 分
生まれたところ	川崎市宮前区鷺沼1丁目1番地 1号			
住所 (住民登録をするところ)	川崎市高津区下作延2丁目8番地 1号			
父母の氏名 生年月日 (子が生まれたときの年齢)	父 川崎 太郎 昭和51年7月1日 (満 27歳)	母 川崎 花子 昭和52年2月28日 (満 26歳)		
本籍 (外国人のときは 国籍だけを書いてください)	川崎市川崎区宮本町 1番地			
同居を始めたとき	平成11年 4 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)			
子が生まれたときの世帯のおもな仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁を除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input checked="" type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世界帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯			
父母の職業	父の職業	母の職業		
その他				
届出人	<input checked="" type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 1. 母 <input type="checkbox"/> 2. 法定代理人() <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 医師 <input type="checkbox"/> 5. 助産婦 <input type="checkbox"/> 6. その他の立会者 <input type="checkbox"/> 7. 公設所の長			
住所	(4)欄に同じ 番地 号			
本籍	(6)欄に同じ 番地 番 筆頭者の氏名 (6)欄に同じ			
署名	川崎 太郎	昭和51年 7 月 1 日生		
事件簿番号				
連絡先	電話 (000) 0000 番	自宅 勤務先・呼出	方	

届出する年月日を書いて下さい

子の「名」に使用できる漢字には制限があります。(人名漢字、常用漢字のみ)詳しくはお問合せ下さい。

届出人は、父または母です。窓口に来る方ではありません。
未婚の母が出産した場合の届出人は母です。

届書の文字は、略さず丁寧に書いて下さい。

出生証明書は医師・助産師の方が記入します。届出人の方は記入しないで下さい。

届出は、1通でさしつかえありません

婚姻中の父母から生まれた子が「嫡出子」です。

父母との続き柄とは、「長男」「二女」などのことです。

世帯主との続柄は、「子」「子の子」などになります。

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

子の父または母が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合は、新しい戸籍がつくられますので、この欄に希望する本籍を書いてください。

代理人が窓口へ提出する場合でも、届出人の署名は、子の父または母の氏名を書いてください。

出生届を受付した証明印を押します。お持ち頂くのは、後日でもかまいません。

生まれたお子様を国民健康保険証に記入します。

出生証明書

子の氏名	男女の別	1男 2女
生まれたとき	平成 年 月 日	午前 時 分 午後 時 分
出生したところ及びその種別	出生したところの種別	1病院 2診療所 3助産所 4自宅 5その他
	出生したところの種別	番地 号
体重及び身長	体重	グラム
	身長	センチメートル
単胎・多胎の別	1単胎 2多胎 (子中第 子)	
母の氏名	妊娠週数	満 週 日
この母の出産した子の数	出生子 (この出生子及び出生後死亡した子を含む) 死産児 (妊娠満22週以降)	人 胎
1 医師	上記のとおり証明する。	平成 年 月 日
2 助産婦	(住所)	番地 号
3 その他	(氏名)	番地 号 印

記入の注意

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

体重及び身長は、立会者が医師又は助産師以外の者で、わからなければ書かなくてもかまいません。

この母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。

この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように1、2、3の順序に従って書いてください。

届出に必要なもの

出生届	1通
届出人の印鑑	○
母子健康手帳	○
国民健康保険証	加入者のみ